

2024 ひょうご信用創生アワード

HYOGO CREDIT CREATION AWARD 2024

開催報告書



兵庫県信用保証協会
CREDIT GUARANTEE CORPORATION OF HYOGO-KEN



はじめに

このたび、兵庫県地域支援金融会議の皆さまのご尽力により、昨年度に引き続き、「ひょうご信用創生アワード」を開催しました。

この地域支援金融会議は、兵庫県内の中小企業・小規模事業者への金融支援や経営支援を行うため、幅広い関係機関の連携により、平成24年10月に創設されました。平成29年には、これまでの実績、成果を評価、検証し、更なる活性化を図るとともに、関係機関から金融、経営支援を受け、優れた成果を上げた事例を顕彰することにより、ベストプラクティスを情報共有し、そのような取組が拡大することを通じて地域経済の発展につなぐということを目的に、第1回目の「ひょうご信用創生アワード」を開催しました。

本アワードは5回目の開催となりますが、支援対象のライフステージや成果把握を問わず、幅広い事例を募集することで、兵庫県下の地域金融機関、政府系金融機関及び経営支援機関から合計29事例という多数のご応募をいただきました。その中から、事前選考により6組の事例を優秀事例に内定の上、令和6年11月7日、公開の最終選考会として開催したものです。

本報告書は、この6事例について、発表資料や評価のポイントなどを取りまとめたものです。ご高覧いただき、これらを兵庫のベストプラクティスとして、今後の業務の参考にいただければ幸いです。

本アワードは、継続的な取組として発展していけるよう改善に努めますので、引き続き皆さま方のご支援をお願い申し上げます。

最後になりましたが、本報告書の発刊にあたり、多大なご協力を賜りました関係者各位に心より御礼を申し上げます。

令和7年2月吉日

ひょうご信用創生アワード実行委員会



主催者あいさつ	5
受賞事例、選考委員	6
実施要領、応募状況、選考過程	8
兵庫県地域支援金融会議（ひょうご信用創生アワード実行委員会）構成機関	9

受賞事例の概要ならびに事例発表資料

選考ポイント	10
--------	----

■最優秀事例

共栄ゴルフ工業株式会社、但陽信用金庫	11
--------------------	----

■選考委員特別賞（SDGs部門）

イクジウッド株式会社、中兵庫信用金庫	19
--------------------	----

■選考委員特別賞（創業支援部門）

加茂 努、神戸商工会議所	27
--------------	----

■優秀事例

足立織物株式会社、兵庫県信用組合	35
株式会社御座候、姫路信用金庫	43
丸山印刷株式会社、株式会社商工組合中央金庫	53

講 評	62
-----	----



「2024ひょうご信用創生アワード」受賞者の皆さま

主催者あいさつ



ひょうご信用創生アワード
実行委員会 委員長
(兵庫県信用保証協会 理事長)

遠藤 英二

HYOGO
CREDIT
CREATION
AWARD

本日は、大変お忙しい中、2024ひょうご信用創生アワードにご参加くださりありがとうございます。また、このアワード開催にあたり、多数のご応募をいただきました。日々のお忙しい時間を割いてご応募いただいたこと、心より感謝申し上げます。

2017年に第1回目のアワードを開催し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により一時中止となりましたが、昨年皆さまのご協力を得てなんとか復活することができました。

新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に移行し、1年半が経過しました。県内の経済状況は緩やかに回復していますが、円安、エネルギーや原材料の価格高騰、価格転嫁の難しさ、慢性的な人手不足等により、中小企業・小規模事業者は依然として厳しい状況が続いています。

このような中、支援機関の皆さまにおかれましては、経営努力を重ねられている中小企業・小規模事業者の置かれた状況やニーズを把握し、経営課題の解決に向け寄り添った支援を全力で取り組まれているところです。そうした支援事例を顕彰するため、5回目のアワードを開催することといたしました。今回のアワードは29件のご応募をいただきました。神戸大学教授の家森信善先生を委員長に3名の選考委員の皆さまによる選考委員会を設けて新規性や独自性、地域への貢献度といった複数の項目について審査をいただき、6事例が優秀事例に内定いたしました。本日は、この6組の皆さまに、この壇上でプレゼンテーションをしていただき、最終審査を行います。そして、最優秀事例、選考委員特別賞、優秀事例を最終決定いたします。そののち、家森先生からご講評をいただく予定にしています。プレゼンターの皆さまには、自らの取組の強みを精一杯アピールしていただきたいと思います。

本日発表いただく事例をベストプラクティスとして各機関が情報を共有し、連携をより一層深め、経営支援スキルの向上を図り、中小企業・小規模事業者の想いの実現に向けて力を合わせて頑張っていきたいと考えています。

今後、このアワードが継続的な取組として更に発展していけるよう、皆さまの引き続きのご支援ご協力をお願いいたします。本日はありがとうございます。どうぞよろしくお願いいたします。

最優秀事例

国内製造にこだわった「市川アイアン」の存続と
「新分野進出」に向けた取組みの支援

受賞者

共栄ゴルフ工業株式会社
×
但陽信用金庫



選考委員特別賞(SDGs部門)

壁を乗り越える、ブランディング・マーケティング支援
～新しい価値を伝えるために～

受賞者

イクジウッド株式会社
×
中兵庫信用金庫



選考委員特別賞(創業支援部門)

低利益体質の輸入チョコレート専門店を脱却し、
本格的なメーカーへの転換を目指す

受賞者

加茂 努
×
神戸商工会議所



優秀事例

(五十音順)

事業転換から時代のニーズにマッチした製品開発による
V字回復の経営支援

受賞者

足立織物株式会社
×
兵庫県信用組合



ともにプロジェクトの活動を通して、
お客さまと向き合い、本業支援に取り組んだ事例

受賞者

株式会社御座候
×
姫路信用金庫



超地元密着型企業をめざして～
当社の想い実現へ向け全力で伴走支援

受賞者

丸山印刷株式会社
×
株式会社商工組合中央金庫



「2024ひょうご信用創生アワード」選考委員

委員長 | 家森 信善氏 神戸大学経済経営研究所教授・同地域共創研究推進センター長

委員 | 團野 礼子氏 兵庫県産業労働部次長 植田 訓行氏 兵庫県中小企業診断士協会会長

「2024 ひょうご信用創生アワード」実施要領

(目的)

第1条 兵庫県地域支援金融会議(以下「本会議」という。)の参加機関(以下「参加機関」という。)から金融、経営支援を受け、優れた成果を上げた事例(現在進行中の事例を含む。)を顕彰することにより、関係者が情報共有を行うとともに、参加機関の支援意欲及び中小企業・小規模事業者の経営意欲の喚起を図り、兵庫県の地域経済の発展に寄与することを目的とする。

(顕彰対象)

第2条 本会議の参加機関(業界団体等にあつては所属する個別の支援機関等を含む。)の金融、経営支援を効果的に活用して、支援対象企業の有する事業へのさまざまな「想い」を実現させた取組事例又は「想い」の実現に向けて現在進行中の事例の中から、優れた事例を顕彰する。顕彰名は「ひょうご信用創生アワード」とする。

2 顕彰対象は、顕彰事例とし、顕彰状等の交付対象者は「中小企業基本法」の定義に該当する中小企業・小規模事業者、支援機関等当該事例にかかわった者とする。

(応募者)

第3条 本会議の参加機関(業界団体等にあつては所属する個別の支援機関等を含む。)及びその支援を受けた中小企業・小規模事業者とする。自薦、他薦は問わない。

(応募方法)

第4条 所定の応募用紙により、ひょうご信用創生アワード実行委員会の事務局に電子メールの方法にて行う。

(応募期間)

第5条 応募期間は、令和6年5月20日から同年8月2日までとする。

(選考方法)

第6条 有識者等で構成する「ひょうご信用創生アワード選考委員会」を設置して、選考を行い、顕彰事例を決定する。

(顕彰式等)

第7条 顕彰式は、本会議において行う。

2 受賞者には、本会議から顕彰状及び副賞を授与する。

3 顕彰事例については、兵庫県信用保証協会のホームページ、広報誌等に掲載する。

(その他)

第8条 顕彰事例について、虚偽、不法行為、反社会的勢力関与等が判明した場合、顕彰を取消しすることがある。

附 則

(施行日)

本要領は、令和6年5月20日から施行し、令和7年3月31日をもって失効する。

応募状況

構成機関	応募総数
経営支援機関	1
政府系金融機関	2
金融機関	25
信用保証協会	1
合 計	29

選考過程

令和6年 5月20日	応募受付開始
令和6年 8月 2日	応募受付締切
令和6年 9月11日	事前選考委員会
令和6年11月 7日	2024 ひょうご信用創生アワード (最終選考)



事前選考委員会(9月11日)

兵庫県地域支援金融会議
(ひょうご信用創生アワード実行委員会)

構成機関

経営支援機関

- (公財)ひょうご産業活性化センター
- 兵庫県商工会議所連合会(神戸商工会議所)
- 兵庫県商工会連合会
- 兵庫県中小企業団体中央会

中小企業活性化協議会・地域経済活性化支援機構

- 兵庫県中小企業活性化協議会
- 地域経済活性化支援機構

専門家団体

- (一社)兵庫県中小企業診断士協会
- 兵庫県弁護士会
- 日本公認会計士協会兵庫県
- 近畿税理士会

政府系金融機関

- 商工組合中央金庫 神戸支店
- 日本政策金融公庫 神戸支店
- 中小企業事業
国民生活事業

金融機関

- 三井住友銀行
- 但馬銀行
- みなと銀行
- 神戸信用金庫
- 姫路信用金庫
- 播州信用金庫
- 兵庫信用金庫
- 尼崎信用金庫
- 日新信用金庫
- 淡路信用金庫
- 但馬信用金庫
- 西兵庫信用金庫
- 中兵庫信用金庫
- 但陽信用金庫
- 兵庫県信用組合
- 淡陽信用組合

金融団体

- (一社)神戸銀行協会
- (一社)兵庫県信用金庫協会
- (一社)兵庫県信用組合協会
- 信金中央金庫 神戸支店

行政機関

- 近畿経済産業局
- 近畿財務局 神戸財務事務所
- 兵庫県 産業労働部

信用保証協会

- 兵庫県信用保証協会

事例紹介



最優秀
事例

選考委員
特別賞

優秀
事例

選考ポイント

1 事業者におけるポイント

【創業期】

- (1) 自己実現度や数値目標の達成度、チャレンジへの想いなど
- (2) 新規性・革新性の度合や継続性・発展性への期待など
- (3) 地域活性化への貢献や地域資源の活用など

【成長・発展期、成熟期】

- (1) 成長分野への進出や財務面の成長率など
- (2) 経営革新・技術革新、先進的な取組など
- (3) 地域活性化や地域経済・雇用維持への貢献など

【経営改善期】

- (1) 経営改善計画の実現性、財務面の改善など
- (2) 経営悪化時の対応策や経営管理面での体制強化策など
- (3) 地域資源の活用や地域経済・雇用維持への貢献など

【事業承継期】

- (1) 明確な将来像や経営課題との向き合い方など
- (2) 後継者の選定や事業承継の実現性など
- (3) 地域資源の活用や地域経済・雇用維持への貢献など

2 支援機関におけるポイント

- (1) 支援態勢や支援の効果など
- (2) 他の支援機関等との連携や地域経済活性化への取組など

3 選考委員特別賞

SDGs達成に資する優れた取組を行っている事例
創業支援に関する優れた取組を行っている事例

事例名

国内製造にこだわった「市川アイアン」の存続と「新分野進出」に向けた取組みの支援

事業者 | 共栄ゴルフ工業株式会社



支援機関 | 但陽信用金庫

取組事例の概要

国産ゴルフアイアンヘッド発祥の地として知られる市川町にて、昭和31年ゴルフアイアンヘッドの製造事業者として創業。昭和45年に鍛造部門を新設し、一貫生産体制を構築して差別化を図ってきた。しかしながら、設備の老朽化や職人の高齢化により生産効率の悪化といった課題に直面している。

そこで、生産体制の再構築のため①従業員を巻き込んだ知的資産経営への取組み、②事業再構築補助金を活用した旋盤機導入によるリードタイム短縮、内製化に向け鍛造品への付加価値作業として技術の蓄積を行っている。また、鍛造技術に特徴を持つ「市川アイアン」の鍛造品供給業者の減少により「国内産鍛造」から「中国産鍛造」のアイアンに置き換わる事態を避けるため、廃業する近隣事業者の顧客を引継ぎ、地域資源存続を図った事例。

事業者

共栄ゴルフ工業株式会社

■代表者	坂本 敬祐
■本店所在地	神奈川県市川町西川辺5
■法人設立日(創業日)	昭和36年7月11日
■従業員数	11名
■業種	運動用具製造業
■事業内容	・ゴルフ用品(アイアンヘッド、パター)製造、販売 ・ゴルフ用具材料の製造、販売 ・ゴルフ用具の設計、開発

支援機関

但陽信用金庫

■本店所在地	加古川市加古川町溝之口772
■担当部署	経営相談部
■支援内容	・知的資産経営レポート作成支援 ・改善計画策定支援 ・事業再構築補助金申請支援 ・設備導入後の技術確立に向けた支援 ・地域連携



選考委員の講評

- ・事業基盤の整備により、他社の事業引継ぎが可能となり、事業性評価を続けることで、地場産業の活性化が期待できる。
- ・支援機関は、目先の業績だけにとらわれず、事業者の強みをしっかりと理解し、その強みを知的資産経営レポートによって従業員を巻き込みながら見える化を行い、補助金獲得やビジネスマッチングを通じて、事業価値を高めることに大きく貢献している。

01

2024ひょうご信用創生アワード

国内製造にこだわった 「市川アイアン」の存続と 「新分野進出」に向けた取組みの支援



事業者名 : 共栄ゴルフ工業株式会社
支援機関名 : 但陽信用金庫

02

2024ひょうご信用創生アワード

事業者名 : 共栄ゴルフ工業株式会社
支援機関名 : 但陽信用金庫



【アイアンの製造工程】

「一本の鉄」から「一体化したアイアン」を作る技術

鍛造



研磨



メッキ



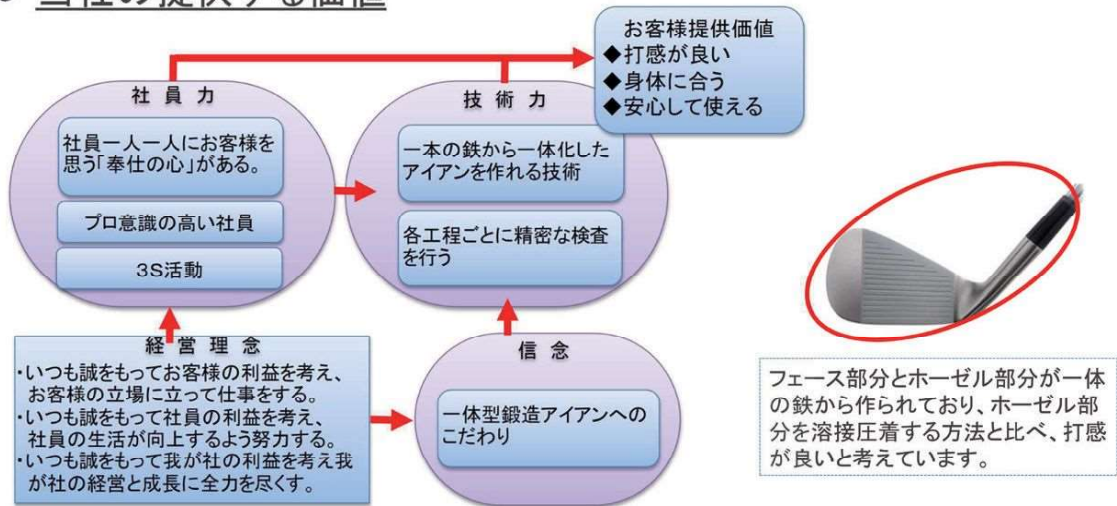
完成品



2024ひょうご信用創生アワード

事業者名：共栄ゴルフ工業株式会社
支援機関名：但陽信用金庫

● 当社の提供する価値

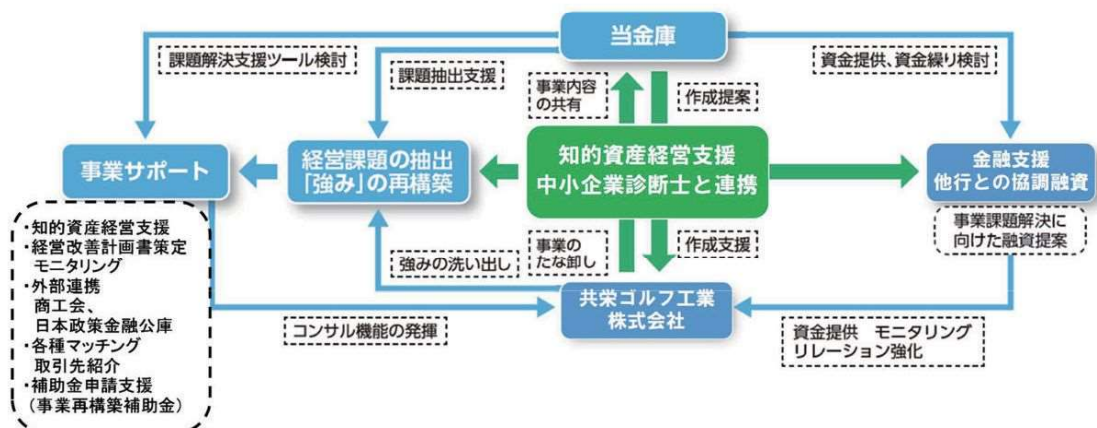


2024ひょうご信用創生アワード

事業者名：共栄ゴルフ工業株式会社
支援機関名：但陽信用金庫

○ 支援スキーム図

但陽信用金庫の「課題解決型経営」への支援体制



2024ひょうご信用創生アワード

事業者名 : 共栄ゴルフ工業株式会社
 支援機関名 : 但陽信用金庫

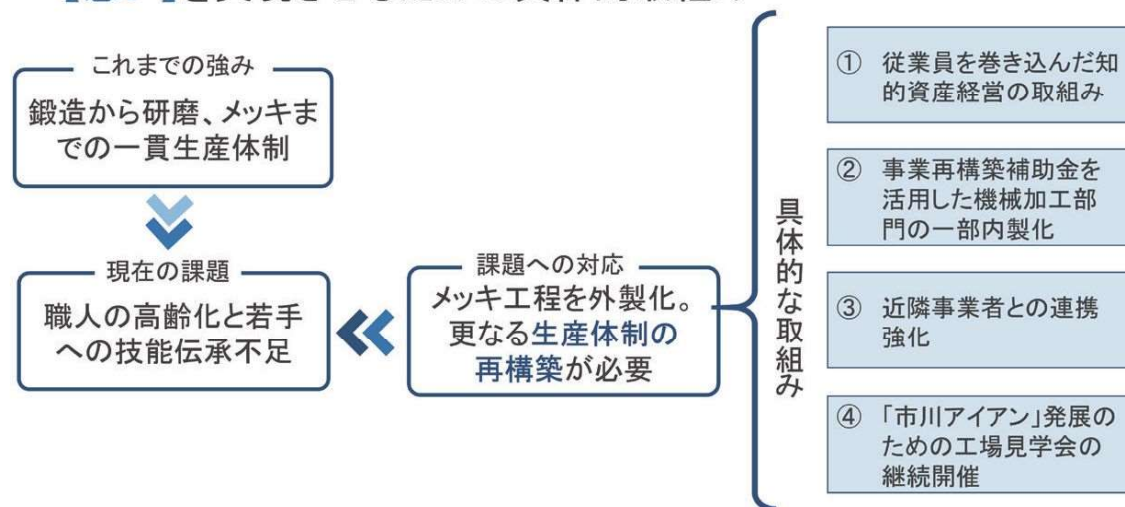
【想い】

地域資源として「市川アイアン」を
 発展させたい！

2024ひょうご信用創生アワード

事業者名 : 共栄ゴルフ工業株式会社
 支援機関名 : 但陽信用金庫

● 【想い】を実現させるための具体的取組み

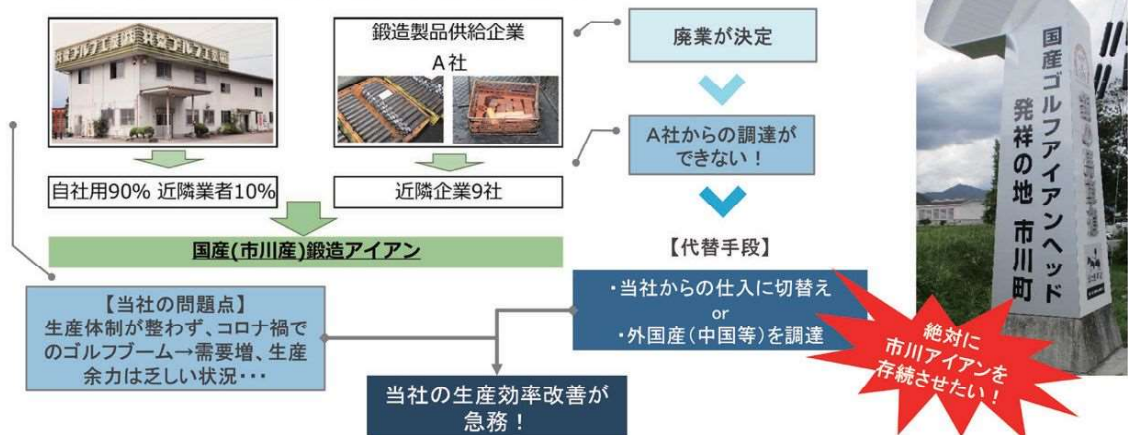


2024ひょうご信用創生アワード

事業者名：共栄ゴルフ工業株式会社
支援機関名：但陽信用金庫

● 事業を行ううえでの「想い」が更に強まった事象が発生

【市川町内における「鍛造製品」の流通経路と変化】



2024ひょうご信用創生アワード

事業者名：共栄ゴルフ工業株式会社
支援機関名：但陽信用金庫

● 具体的取組み① 従業員を巻き込んだ知的資産経営の取組み

【但陽信用金庫主催の知的資産経営支援セミナーに参加】

外部専門家の支援のもと、社長、工場長、若手従業員、女性従業員による業務の棚卸を行い、改めて自社の強みや課題、従業員の「想い」を再確認。

【経営デザインシート】

【作業風景】



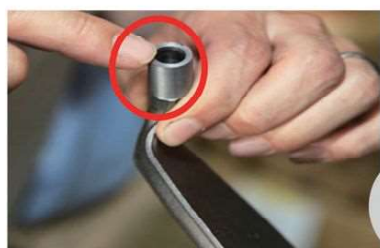
2024ひょうご信用創生アワード

事業者名：共栄ゴルフ工業株式会社
支援機関名：但陽信用金庫

● 具体的取組み② 機械加工部門の一部内製化(事業再構築補助金)

コロナ禍で受注が増加したタイミングで外注依存であった機械加工部門が一時停滞。
協力先企業では穴あけ作業を汎用機で加工。市川アイアン存続・技術の承継を考慮し、加工技術が
確立しやすいCNC旋盤機導入により、一部内製化と技術の蓄積を図る取組みを開始(新分野進出)。

【ホーゼル(アイアンヘッド部分とシャフトを繋ぐ部分)の穴あけ加工】



QTE-200 SG

Ball Turning

事業
再構築
補助金
活用



“よろず相談所”
但陽信用金庫

× 他行連携 ×

B社様



【但陽信用金庫からの支援】

- ① 事業再構築補助金申請書作成支援
職員による単独支援
- ② 資金調達支援
- ③ 旋盤機導入に際し技術指導可能な取引先
の紹介
- ④ 事業化に向けた伴走支援

2024ひょうご信用創生アワード

事業者名：共栄ゴルフ工業株式会社
支援機関名：但陽信用金庫

● 具体的取組み③ 近隣事業者との連携強化

【業界全体の課題】
研磨職人の不足

コロナ禍以降の
ゴルフ人気の高まりによる
受注増加



近隣事業者との連携強化
で受注の平準化へ

● 具体的取組み④ 工場見学会の継続開催

各方面から依頼のある工場見学を積極的に受入
～鍛造・研磨工程を唯一見学可能な現場～

兵庫県企画部万博推進局SDGs体験型プログラムの
第三次認定(R5年)



地域活性化へ



11

2024ひょうご信用創生アワード

事業者名：共栄ゴルフ工業株式会社
支援機関名：但陽信用金庫

● 「想い」を達成できた点



各種取組みにより生産性向上、廃業したA社からの鍛造品供給事業の引継ぎを達成。

● 地域貢献できた点



「市川アイアン」存続に向け、近隣事業者へ鍛造品の供給開始（現在も改善取組みは必要）。また、工場見学の継続した受入で地域を活性化。

● 苦労した点



資金調達も容易では無かったが、金融機関の協調融資や、近隣事業者様の協力もあり事業引継ぎが叶った。

12

2024ひょうご信用創生アワード

事業者名：共栄ゴルフ工業株式会社
支援機関名：但陽信用金庫

○ 但陽信用金庫の支援

創業時からの取引先、金庫方針「かかわり、さしでる経営」の実践



【SDGsの取組み】

- 「市川町」が「国産ゴルフアイアンヘッド発祥の地」を広くPRするため、「動く市川町」として「情報発信トラック」を導入し2023年4月以降各地へ移動PRを開始。
- 当金庫はトラック導入の計画段階から車両荷台部分の装飾・設備等についての打ち合わせ会議や、商業施設等での試打体験会にも参加し、効果的な情報発信やPRに協力しました。
- また、持続可能な成長ができる生産体制の構築に向け各種支援を実施しています。



2024ひょうご信用創生アワード

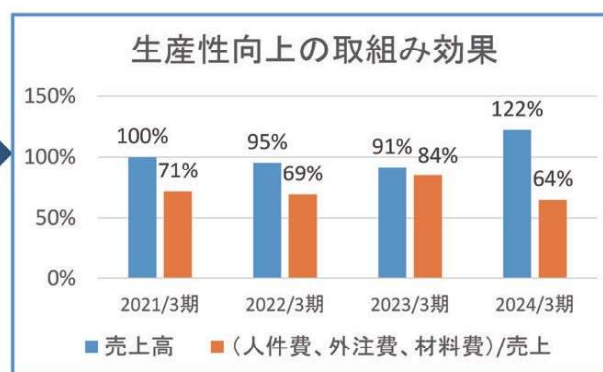
事業者名：共栄ゴルフ工業株式会社
支援機関名：但陽信用金庫

○ 支援結果

【各種支援の効果】

- 知的資産経営支援
 - ・ 自社の強み再確認(社長・従業員)
- 経営改善支援
 - ・ 目標数値、アクションプランの設定
 - ・ 当金庫によるモニタリング
- 外部連携
 - ・ 必要な額の資金調達や経営支援
- 各種マッチング
 - ・ 外注先確保、技術支援先確保
- 補助金申請支援(事業再構築補助金)
 - ・ CNC旋盤機導入で一部内製化に成功、持続可能な成長ができる生産体制構築と新分野進出

【コロナ影響を受け始めた2021/3期を基準とした売上高と生産性比較】



事例名

壁を乗り越える、ブランディング・マーケティング支援 ～新しい価値を伝えるために～

事業者 **イクジウッド株式会社** × 支援機関 **中兵庫信用金庫**

取組事例の概要

大正14年創業の地域の小規模な製材所が、将来的な事業の持続性を考える中で、里山の保全の必要性に自社の存在意義を見出し、多種多様な広葉樹素材を活用した独自の木製食器を開発したが、個性豊かな耳付き素材の“野趣”と、木目の質感を引き立たせるガラスコーティング加工の美しい仕上げの魅力を発信しきれず、思うように販売が進まなかった。支援機関は、販路開拓の前に、しっかりと自社ブランドコンセプトの確立から支援を開始し、狙いを定めたビジネスマッチングの成約により、確かな販売戦略の手ごたえを掴んだ事例。

事業者

イクジウッド株式会社

■代表者	足立 成人
■本店所在地	丹波市青垣町佐治751番地の2
■法人設立日(創業日)	平成10年5月21日
■従業員数	3名
■業種	製材業、建設業
■事業内容	・兵庫県産材を中心とした土木・建築・産業用木材などの製材 ・一般木造住宅建築設計・施工 ・木製家具・食器製造販売事業

支援機関

中兵庫信用金庫

■本店所在地	丹波市氷上町成松226-1
■担当部署	青垣支店
■支援内容	・自社商品ブランディング支援 ・知的財産保護・活用マーケティング支援 ・販路開拓支援



選考委員の講評

- ・地域企業は地域資源を活用することで強みを発揮できる。広葉樹を活用し、里山の保全と本業の両立を図る意欲的な取組である。SDGs達成には経済性と社会貢献の両立が重要である。
- ・中小企業・小規模事業者はブランド力不足で適正価格での販売が課題である。支援機関は専門家と繋ぎ、ビジネスマッチングを支援し、経済性と社会貢献の両立を図っている。

2024ひょうご信用創生アワード

壁を乗り越える、
ブランディング・マーケティング支援
～新しい価値を伝えるために～

事業者名：イクジウッド株式会社
支援機関名：中兵庫信用金庫

2024ひょうご信用創生アワード

事業者名：イクジウッド株式会社
支援機関名：中兵庫信用金庫

○ 企業概要、沿革

イクジウッド株式会社は、兵庫・丹波地方の山々に囲まれ自然豊かな地域で製材業と一級建築士事務所を営んでいます。

— 会社概要 —

設立 1998年5月21日
代表者 代表取締役 足立成人
所在地 兵庫県丹波市青垣町佐治751番地の2
代表番号 TEL0795-87-0028 FAX0795-87-0029
資本金 2,500万円
事業内容 製材事業および住宅等の建築請負事業
URL <http://ikuj Woodward.co.jp/>

— 沿革 —

1925年 鉄道用枕木商として足立幾治商店を創業
1960年 建築材の販売に合わせて製材所を開設
1986年 木造住宅の設計施工をはじめると同時に、建設業登録、一級建築士事務所を開設
1998年 足立幾治商店の業務一切を継承してイクジウッド株式会社を設立
2019年 木のよい暮らしをテーマとした小売製品の製造販売事業を開始
2022年 製造体制の拡充のため木材乾燥機を導入



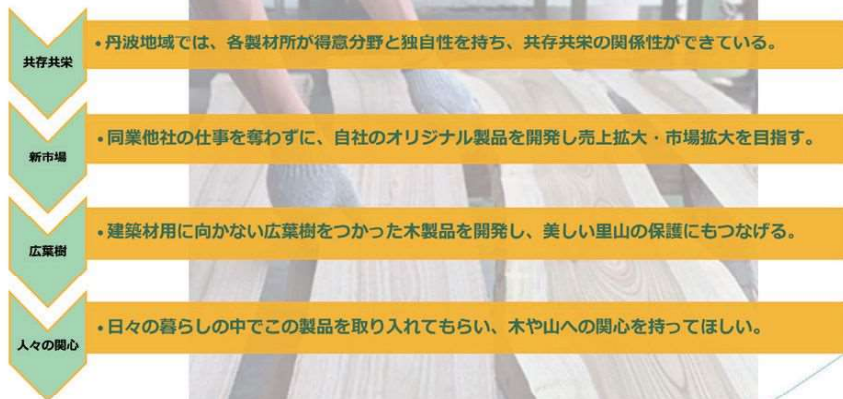
03

2024ひょうご信用創生アワード

事業者名 : イクジウッド株式会社
支援機関名 : 中兵庫信用金庫

○事業者側 事業を行ううえでの「想い」

<開発の経緯>



04

2024ひょうご信用創生アワード

事業者名 : イクジウッド株式会社
支援機関名 : 中兵庫信用金庫

○事業者側 「想い」を実現させるための具体的取組

<木製品の製造販売に向けて>

①木の耳を活かした野趣あふれるデザインの確立

広葉樹ならではの木目や原木を感じさせる耳付きの木のお皿の企画開発を行った。

②サクラ・クリ・カエデ・エンジュなど 多種多様な樹種の調達

多様な樹種を原木から調達し、製材から加工まで一貫生産できる体制。

③安定的な品質の製造体制確立のための木材乾燥機の導入

乾燥期間の短縮および反りや狂いの少ない高品質の木材を生産するために木材乾燥機を導入した。

④食器としての使い勝手を向上させるガラスコーティング加工

油染みにならず清潔に使える防汚性能、テカリのない自然なコーティングを独自開発した。

2024ひょうご信用創生アワード

事業者名 : イクジウッド株式会社
支援機関名 : 中兵庫信用金庫

○事業者側 「想い」を実現させるための具体的取組

＜ガラスのような木のお皿 一人膳八寸＞



2024ひょうご信用創生アワード

事業者名 : イクジウッド株式会社
支援機関名 : 中兵庫信用金庫

○事業者側 苦労した点

コーティングの性能向上と天然木の風合いの両立

- ・油の染み込みを防いで長期にわたり劣化せず、清潔に使用することが出来る。
- ・コーティング剤は食品衛生法に適合。
(一財)日本塗料検査協会の耐洗浄性・耐防汚性の試験済み。
- ・コーティング特有のデカリがなく、天然木の一枚板の風合いを維持している。



販売促進・認知向上・ブランドの確立

理想を追って全力を傾けて開発した製品が思うように売れず、ターゲットや価格設定など、どのような販売戦略をとるかが大きな課題である。支援機関を通じて、展示会出展・商標登録・グッドデザイン賞受賞など認知向上とブランド価値の確立を目指した取り組みを行っている。

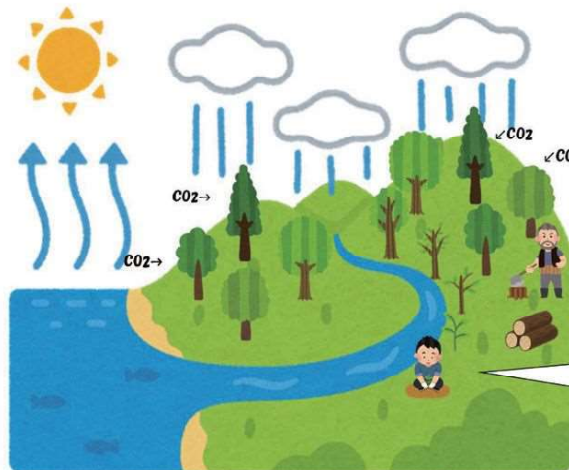
07

2024ひょうご信用創生アワード

事業者名：イクジウッド株式会社
支援機関名：中兵庫信用金庫

○事業者側 SDGsへの「想い」

- ▶ 広葉樹林は、海の資源を育み、Co2を吸収して固定化する。
- ▶ 個性豊かな広葉樹を使用した製品を通じて、里山環境の保全に関心を持ってほしい。



間伐による木材利用が里山の新たな代謝を促進！

豊かな広葉樹林が海の栄養源です！

08

2024ひょうご信用創生アワード

事業者名：イクジウッド株式会社
支援機関名：中兵庫信用金庫

○ 支援機関側 ・ 支援に至った経緯

- ▶ 従来から、製造業のお取引先様が、理想を追い求めて新製品を開発しても、販売面で苦労するケースが多かった
- ▶ 同社の場合も、新たな挑戦といえる独自製品の開発を見守ってきたが、完成した新製品の販売において壁にあたり、苦労する様子を目の当たりにした

プロダクトアウトタイプ	←→	マーケットインタイプ
社長が提供したい製品を開発した	発想	顧客が望むものを作る
素材調達力と独自のガラスコーティング技術により、画期的製品を開発	メリット	顧客ニーズへの適合を優先し、失敗のない商品展開
製品の魅力が伝わりにくく、どこへどう売り込めばよいのが悩んだ	デメリット	画期的なものが生まれにくく、競合に埋もれてしまう

こちらに重心が偏りがち

両方のバランス感覚が重要
想定顧客の潜在的な欲求を見つけ出し、ターゲットを絞ったマーケティング戦略を立案するための、専門的支援が必要

2024ひょうご信用創生アワード

事業者名 : イクジウッド株式会社
支援機関名 : 中兵庫信用金庫

- 支援機関側
・ 支援内容・姿勢・支援スキーム図

事業環境の変化、将来性への懸念に対する行動が必要

- ・ 大規模事業所へのシェア集中
- ・ 地域の小規模製材所の減少
- ・ SDGsの意識の広がり
- ・ 里山環境の荒廃、環境保護
- ・ 原木を扱う製材業者にしか出来ないこと

地域金融機関、外部支援機関の協力を得て、新たな事業展開に取り組む

- ・ 独自の発想と技術開発
- ・ 自社ブランドの確立
- ・ 提供価値の見直し再評価
- ・ 知財を活用したマーケティング
- ・ INPIT×なかしん連携による、壁を乗り越える支援

実際の販路開拓活動を活発化

- ・ 川上・川下ビジネスネットワーク事業
- ・ なかしん個別商談会
- ・ あまがさき産業フェア
- ・ 中小機構「地域活性化パートナー制度」

2024ひょうご信用創生アワード

事業者名 : イクジウッド株式会社
支援機関名 : 中兵庫信用金庫

- 支援機関側
・ 他の支援機関との連携によるブランディング・マーケティング支援 第1段階

- ▶ INPITの専門家と営業店・本部担当者を変えて協議・検討
- ▶ 同社の潜在的な魅力、競争力を知的資産の視点から整理し、ブランドコンセプト「木のよい暮らし」を確立
- ▶ 併せて、「木のよい暮らし」の商標権も登録



兵庫県知財総合支援窓口 (INPIT) × 中兵庫信用金庫

11

2024ひょうご信用創生アワード

事業者名：イクジウッド株式会社
支援機関名：中兵庫信用金庫

○ 支援機関側

・他の支援機関との連携によるブランディング・マーケティング支援 第2段階

- ▶ ブランディング、及びマーケティング支援の成果をまとめた、セールス用プレゼン資料が完成
- ▶ ビジネスマッチングや各種商談会、ビジネス顕彰応募、個別商談のベースに活用
 - ・ K.K.netビジネスマッチング
 - ・ なかしん個別商談会
 - ・ あまがさき産業フェア
 - ・ グッドデザイン賞、etc.



兵庫県知財総合支援窓口（INPIT）×中兵庫信用金庫

12

2024ひょうご信用創生アワード

事業者名：イクジウッド株式会社
支援機関名：中兵庫信用金庫

○ 支援機関側

・他の支援機関との連携によるブランディング・マーケティング支援 第3段階

<川上・川下ビジネスネットワーク事業（K.K.net）の活用>

- ▶ 大企業OBのコーディネーター陣に対してプレゼンテーションし、販路開拓支援方針をブラッシュアップ
- ▶ コーディネーター陣の幅広い人脈を活かし、3か月で7件のビジネスマッチングを実施 → 具体的商談に発展
- ▶ 連携している、中小機構ハンズオン支援に推薦

<中小機構近畿本部が迅速に対応>

- ▶ 支援ステージの進行に応じた、最適な支援方針を、当金庫担当者も交えて協議
- ▶ これまでINPIT支援で担当した専門家が、中小機構の支援員も兼務していたため、シームレスに支援を継続
- ▶ グッドデザイン賞受賞を踏まえて、さらに高度なマーケティング支援へ



2024ひょうご信用創生アワード

事業者名 : イクジウッド株式会社
支援機関名 : 中兵庫信用金庫

○ おわりに

「先入観が見事に裏切られる」

•これまでの支援を通じて強く感じることは、支援の専門家やコーディネーターの方々の誰もが実際にこの製品を手に取ってみると、先入観が見事に裏切られるということです。

「木材の魅力を改めて認識」

•樹種によって異なる木目や色合い、肌触りと質感を、ガラスコーティングがより一層引き立たせており、木材の魅力を改めて認識することが出来ます。

「ただ木を切っただけ。・・・」

•グッドデザイン賞受賞の際の審査員のコメントにもある、「ただ木を切っただけ。そんな素朴な佇まいであるが・・・※」のくだりが、うまく言い当てています。

「二次元の画像では伝わりにくい」

•この魅力は、WEBや紙のパンフレットなど、二次元の画像では伝わりにくいものです。

「さらなる支援の高度化に」

•想いを込めて作られた製品が、より多くの人々に認められ、手に取っていただけるよう、我々は、様々な支援機関の皆様と連携して、今後もさらなる支援の高度化に取り組んでいきたいと考えています。



※ グッドデザイン賞 審査員コメント全文：ただ木を切っただけ。そんな素朴な佇まいであるが、どこか唯一無二の潔い美しさを感じる。原木を感じさせる「耳付き」の形状は、机上のスケッチデザインから考えられたのではなく、製材を営む会社ならではの自然の審美眼といえる。独自のガラスコーティングが施され、油染みなどがつきにくく、長く使うことができそうだ。

事例名

低利益体質の輸入チョコレート専門店を脱却し、本格的なメーカーへの転換を目指す

事業者 | 加茂 努 | 支援機関 | 神戸商工会議所

取組事例の概要

商店街空き店舗利用助成金を活用し、東山商店街に常時100種類以上のチョコレートを取り扱う専門店を開業。コロナ禍では十分な利益を確保できない状況が続いたが、補助金等の活用による非接触販売の強化や支援機関主催の販路拡大事業に参加し、カカオ専門の本格的なメーカーへのビジネスモデルの転換により業況改善を進めている。支援機関が助成金や補助金の採択・活用に向けた支援や販路拡大に向けた支援等の伴走を継続している事例。

事業者

加茂 努 【企業名:カカオもの】

■代表者	加茂 努
■本店所在地	神戸市兵庫区東山町 1-12-18 東山商店街内
■法人設立日(創業日)	平成31年3月15日
■従業員数	2名
■業種	製造・小売業
■事業内容	1.①チョコレート製品の販売 ②自社カカオ関連製品の企画・販売・卸売り ③自社アイスの企画・販売・卸売り 2.チョコレート関連のデザイン雑貨等の販売

支援機関

神戸商工会議所

■本部所在地	神戸市中央区港島中町6丁目1番地
■担当部署	中央支部
■支援内容	・売上拡大／販路開拓に関する相談 ・補助金申請に関する相談 ・法律・税務・労務に関する相談 ・創業全般に関する相談



選考委員の講評

- ・競争回避のため健康志向のカカオに注目し、製造から販売まで一本化。食品ロス削減にも取り組み、社会的創業を実現している。
- ・支援機関は、金融機関ではないため直接的に金融を取り扱うことが難しい状況の中で、助成金や補助金、百貨店への出店提案など自らの得意分野を活用した支援策を実施している。

2024ひょうご信用創生アワード

低利益体質の輸入チョコレート専門店を脱却し、
本格的なメーカーへの転換を目指す

事業者名 : カカオもの

支援機関名 : 神戸商工会議所

2024ひょうご信用創生アワード

事業者名 : カカオもの
支援機関名 : 神戸商工会議所

【ビジネスモデル・支援概要】



創業期

東山商店街にて100種類以上のチョコレートを扱う専門店として開業

コロナ期

テイクアウト・デリバリーに対応するため、自動販売機や冷凍ショーケースを導入

経営改善期

コンセプト・ターゲットの明確化
健康・美容に着目したオリジナル商品の展開
メーカー機能の強化

【新規出店の支援】

- 出店支援のため、商店街新規出店チャレンジ事業への応募を勧める。
- 商業アドバイザーの派遣を実施し、資金繰りや周辺環境、顧客層の助言を行う。

【感染対策の支援】

- 事業再構築補助金の申請を支援。
- 事業計画や計画書策定について助言を行う。

【販路拡大の支援】

- 神戸商工会議所主催の販路拡大セミナー参加。
- 大丸神戸のバレンタインフェア、展示会への出展を支援。
- 機械導入、パッケージ・ECサイトリニューアル実施のため、小規模事業者持続化補助金の申請を支援。

神戸商工会議所

03

2024ひょうご信用創生アワード

事業者名 : カカオもの
支援機関名 : 神戸商工会議所

【事業所の想い】

- バレンタイン発祥の地の神戸から、
チョコレートの魅力を発信していきたいとの想い
- 自社で企画した商品を販売し、「お客様に喜んでもらいたい」との想い



04

2024ひょうご信用創生アワード

事業者名 : カカオもの
支援機関名 : 神戸商工会議所

【想いを実現するための具体的な取り組み】

○チョコレート専門店として東山商店街へ出店

- ・新規出店のため「商店街新規出店チャレンジ応援事業」への申請を勧める。
- ・助成金の採択に向け、事業計画書策定支援や商業アドバイザーの派遣を実施。
- ・資金繰りの改善提案や周辺環境・ターゲット選定に対する助言を行ったことで採択となり、180万円で交付決定となる。

○メーカーとしての機能強化

- ・商工会議所の販路拡大事業へ参加し、自社分析やPR手法について学びながら会議所の各種支援を受けることで、自社ブランド品の販売を強化に取り組む。

2024ひょうご信用創生アワード

事業者名 : カカオもの
支援機関名 : 神戸商工会議所

【コロナ期の支援】

事業再構築補助金採択 補助金額500万円

コロナ禍において、テイクアウトやデリバリー需要への対応を提案。
事業再構築補助金の活用により、自動販売機等の導入を提案し、事業計画書の作成や事業に関する助言を実施した。

〔導入した設備〕



【経営改善期の支援】

神戸商工会議所事業 販路拡大プロジェクト参加

商品コンセプト・販売ターゲットの明確化及び、提案書の作成、
バイヤーへの提案方法等、商談を成約させる為に必要なスキルを学ぶ。

〔セミナー参加の様子〕



2024ひょうご信用創生アワード

事業者名 : カカオもの
支援機関名 : 神戸商工会議所

【経営改善期における支援：販路拡大プロジェクト参加の効果】

メインターゲット

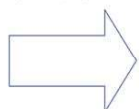
健康志向が強い50歳以上の顧客

強み

- カカオの豊富な知識がある
- 幅広いOEM先がある
- 自社ブランド品開発への熱い思い
- リピーターが多い
- 店主のキャラクターが特徴的

弱み

- オリジナル商品が少ない
- 輸入販売であり利益を残しにくい
- 自社商品PRのノウハウが無い
- 規格書や提案書が正しく作れていない



発酵カカオ専門店への転換且つ、
メーカー機能の強化を目指す

07

2024ひょうご信用創生アワード

事業者名 : カカオもの
支援機関名 : 神戸商工会議所

【小規模事業者持続化補助金の計画書作成支援】補助金額197万円 →メーカー機能の強化に向けた取組み支援

〔タペストリー作成、展示用ボード作成〕



〔業務用冷蔵庫の導入〕



08

2024ひょうご信用創生アワード

事業者名 : カカオもの
支援機関名 : 神戸商工会議所

【ギフト会社の元バイヤーと連携し支援】

○オリジナル商品の強化 & 開発のアドバイス



○出店を薦めた神戸大丸のバレンタインフェアにて、
売上400万達成(2024/1/24~2/14)



2024ひょうご信用創生アワード

事業者名 : カカオもの
支援機関名 : 神戸商工会議所

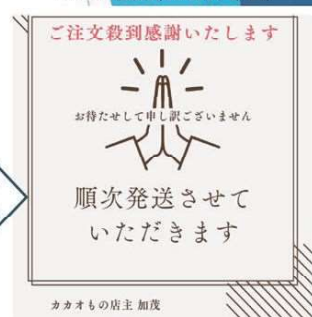
〇プレスリリース作成支援



〇メディア掲載(テレビ&雑誌多数掲載)



〇注文殺到(400万円/日)



2024ひょうご信用創生アワード

事業者名 : カカオもの
支援機関名 : 神戸商工会議所

【その他支援内容】

〇FOODEX JAPAN 2024 in 関西に出展



〇現場で商談のアドバイス実施



〇バイヤー役となり模擬商談を実施

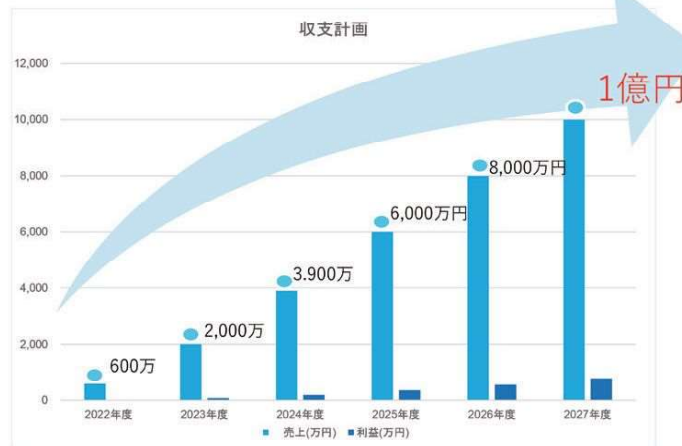


11

2024ひょうご信用創生アワード

事業者名 : カカオもの
支援機関名 : 神戸商工会議所

生産体制、品質管理体制、
マーケティング、原価計算等、
全面的にサポートし、
中堅メーカーへステップアップ!



12

2024ひょうご信用創生アワード

事業者名 : カカオもの
支援機関名 : 神戸商工会議所

【地域貢献やSDGsに向けた取り組み】

○東山商店街の理事を務め、イベント企画・運営に貢献



○食品ロスの削減に貢献

- ・賞味期限が近付いた商品をリメイクし、焼き菓子として販売
- ・カカオの皮を再利用

<参考写真>



<その他>

- ・長田区の茶小売店との連携及び、共同で商品開発
- ・近隣の就労支援事業所に製品の詰め替え作業を依頼



事例名

事業転換から時代のニーズにマッチした
製品開発によるV字回復の経営支援

| 事業者 | 足立織物株式会社 | 支援機関 | 兵庫県信用組合

取組事例の概要

斜陽産業である織布業からの脱却を図るため、顧客の要望が高い贈答用毛布等製品のコンパクト化を研究し、自社開発した真空圧縮技術の活用を企図。支援機関からニーズ探索のための商談会出展支援を受け、圧縮毛布に防災用品としての新しい需要が見つかった。大量生産に向けて手作業で重労働な圧縮工程の改善という課題に対し、支援機関より機械メーカーとのビジネスマッチング支援を受け、機械導入による生産性向上に成功。避難用備蓄商品として全国の自治体からの成約に至った事例。

事業者

足立織物株式会社

■代表者	足立 美由希
■本店所在地	多可郡多可町中区安楽田511
■法人設立日(創業日)	昭和54年6月7日
■従業員数	23名
■業種	繊維製品製造業
■事業内容	・タオル・ハンカチなどの繊維製品企画製造販売 ・「非常用圧縮毛布」などの防災備蓄用品企画製造販売 ・贈答品・ノベルティー用品の企画販売 ・EC販売 ・真空パッキング加工

支援機関

兵庫県信用組合

■本店所在地	神戸市中央区栄町通3-4-17
■担当部署	中町支店
■支援内容	・真空圧縮技術を活用した製品の開発及び販路開拓支援 ・大量生産に向け生産性向上設備の導入にかかるマッチング支援(機械メーカーの紹介) ・専門家を交えた女性が働きやすい職場づくり支援(補助金・助成金) ・企業価値向上に向けた支援(ミモザ企業、SDGs認証企業<ゴールドステージ認証>)



選考委員の講評

- ・世間一般では斜陽産業と見なされる業種において、独自技術を活用した製品開発を行い、新たな需要に適合する製品を見出すことで成長をとげ、本業の立て直しに成功している。
- ・支援機関は、技術開発や新製品のビジネスマッチングなど持続的な支援を展開し、斜陽産業だからこそ、事業者の強みを十分に理解して、伴走支援する姿勢が評価できる。

2024ひょうご信用創生アワード

事業転換から時代のニーズにマッチした 製品開発によるV字回復の経営支援

事業者名 : 足立織物株式会社
支援機関名 : 兵庫県信用組合

2024ひょうご信用創生アワード

事業者名 : 足立織物 
支援機関名 :  兵庫県信用組合

○支援に至った経緯

タオル・ハンカチ等のギフト商品の需要低下により業績不振となり、
経営改善に向け、新たな製品の開発・販路開拓が必要となっていた。

○支援の内容

ギフト用品製造から防災用品製造への事業転換による業績回復支援

- ・真空技術の特許取得及び活用を支援（兵庫県中小企業団体中央会の専門家派遣）
- ・圧縮毛布販売による経営改善計画策定支援（中小企業診断士との協働）
- ・ニーズ探索のために商談会出展支援（兵庫県中小企業団体中央会との協働）
- ・防災用圧縮毛布の量産支援（当組合取引先機械メーカーとのマッチング）
- ・ひょうご産業SDGs推進企業、ミモザ企業の認証取得支援（中小企業診断士との協働）

2024ひょうご信用創生アワード

事業者名：足立織物 
支援機関名：  兵庫県信用組合

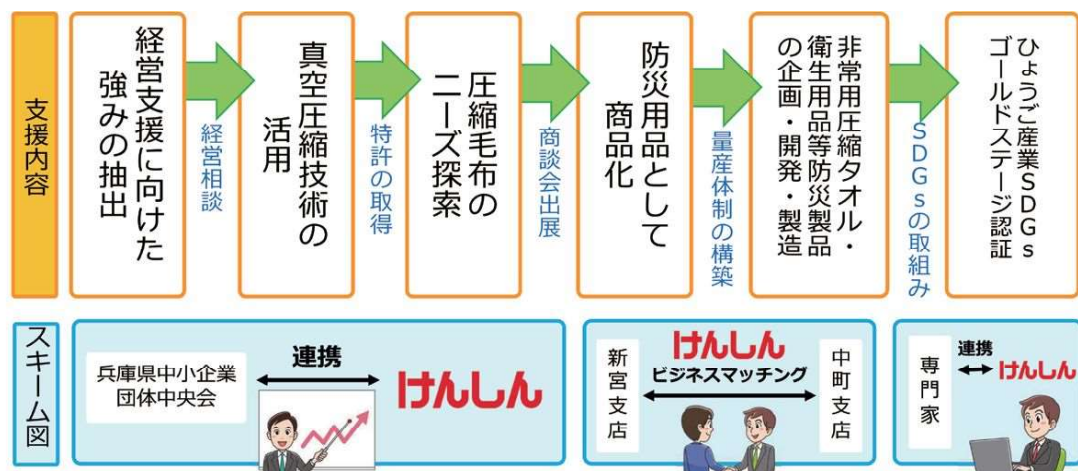
○支援事例の概要（業況の推移）



2024ひょうご信用創生アワード

事業者名：足立織物 
支援機関名：  兵庫県信用組合

○支援事例の概要（支援内容とスキーム図）



2024ひょうご信用創生アワード

事業者名：足立織物 
 支援機関名：  兵庫県信用組合

【事業を行ううえでの「想い」や「想い」を実現させる取組み】

「時流により求められることをいち早くキャッチし、
カタチにしてお客さまへ届ける」

- ・播州織の新たな生地の開発 ⇒ 中小企業庁長官賞受賞の「ドビーギンガム生地」の開発
- ・播州織のハンカチの商品化 ⇒ 「先染めジャガード織ハンカチ生地」の生産開始
- ・ギフト用品のコンパクト化 ⇒ 真空圧縮技術の開発による製品化
- ・清潔長期保管の防災製品 ⇒ 真空パッキングによる「非常用圧縮毛布」等の防災製品の開発



ドビーギンガム生地



非常用圧縮毛布

2024ひょうご信用創生アワード

事業者名：足立織物 
 支援機関名：  兵庫県信用組合

○支援を受けて達成できた点

- ・真空圧縮技術についてアドバイスを受け特許を取得できた。
- ・商談会出展支援により圧縮毛布のニーズを発見できた。
- ・機械メーカーの紹介を受け圧縮機械の製作により量産が可能となった。

時代のニーズにマッチした製品開発によるV字回復



独自技術の研鑽
ISS暴露実験に真空パック技術採用

○地域貢献できた点

- ・商品の安定供給に向け地元人材の雇用を拡大（令和元年15名→令和5年23名）
- ・就労継続支援事業所と連携し地域人材の活用
- ・製品のリサイクル、アップサイクルの企画・検討に地元繊維関連企業と連携

2024ひょうご信用創生アワード

事業者名：足立織物 
 支援機関名：  兵庫県信用組合

○苦労した点

- ・2018年のV字回復までは、売上確保と資金繰りに苦労し、固定費や経費の削減（本社統合や出張時の移動方法、宿泊先見直し等）に取り組んだこと
- ・社内体制をアナログ管理からデータ管理に切替え、原価試算や利益率を可視化し、赤字販売を防止したこと
- ・販売方法の見直し、DMや展示会出展等、真空圧縮毛布の販路を開拓すること
- ・国際フロンティア産業メッセへ出展し、圧縮毛布のニーズは確認できたが、需要喚起は困難であったこと



防災関連向けの展示会への出展が、災害対策などに高い関心がある自治体につながり問い合わせが増加、防災商品開発につながった



2023年2月2日～3日
【第27回震災対策技術展】に出展

2024ひょうご信用創生アワード

事業者名：足立織物 
 支援機関名：  兵庫県信用組合

○SDGsの取組み（事業者のSDGs達成に向けた取組み）

- ・SDGsロードマップの策定 → 2030年に向けたビジョン達成計画
 これまでの事業活動（ものづくり・人づくり・環境づくり）の振り返りと、次に挑戦していくことを、SDGsに沿ってグルーピング・整理しています。
 メンバー1人1人が、事業活動を地域社会・地球規模で捉え、推進していきます。



2024ひょうご信用創生アワード

事業者名：足立織物 
 支援機関名：  兵庫県信用組合

〇SDGsの具体的な取り組み



すべての人に健康と福祉を

- 健康に働ける環境の整備
梱包作業の負担軽減設備を導入 / 年1回の健康診断受診 / 新型コロナウイルス感染症対策

2030年に向けた取り組み

- 健康に働く環境を発案できる組織
- システムやロボット導入による作業の効率化・作業負担平準化・重量物の負担軽減

ジェンダー平等を実現しよう

- 女性も活躍できる体制づくり
子育て中のメンバーが学校行事などに参加できる体制 / 女性リーダー登用

2030年に向けた取り組み

- 誰もが活躍できる会社（地域社会）を目指す取り組みを継続実施
育児・介護中等、多様な状況に対応できる採用活動



2024ひょうご信用創生アワード

事業者名：足立織物 
 支援機関名：  兵庫県信用組合

〇SDGsの具体的な取り組み



人や国の不平等をなくそう

- 経営理念「自尊他尊」の設定
自身も関わる人も大切に、多様性を尊重する組織づくり
- 就労継続支援事業所との連携

2030年に向けた取り組み

- 理念を追求し、会社から社会へ輪を広げる取り組みへ発展・協同パートナー模索

住み続けられるまちづくりを

- 自然災害対策:ISO22301取得・BCP策定
- 行政との災害協定締結による地域支援体制

2030年に向けた取り組み

- 地域支援活動の推進
防災知識を足立織物から地域へ発信し、学びを深める場を提供
- 清掃活動等の地域貢献活動推進



11

2024ひょうご信用創生アワード

事業者名：足立織物 
支援機関名：  兵庫県信用組合

○支援結果

平成25年

圧縮毛布で「グッドデザイン賞」
「しっかいや大賞」を受賞

 GOOD DESIGN AWARD 2013
ものづくりデザイン賞



平成26年

国際フロンティア産業メッセで
「ベスト展示賞最優秀賞」を受賞



平成27年

平成27年を底として業績回復

平成30年

量産用機械の導入、作業所の新築



12

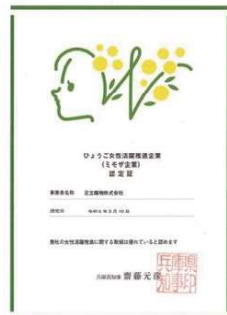
2024ひょうご信用創生アワード

事業者名：足立織物 
支援機関名：  兵庫県信用組合

○支援結果

令和5年

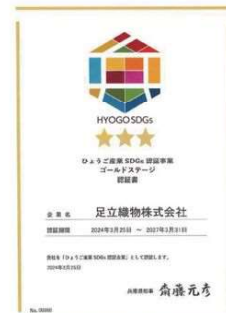
ひょうご・こうべ女性活躍推進
企業認定（ミモザ企業）



県内でいち早く
ミモザ企業認定

令和6年

ひょうご産業SDGs認証企業
ゴールドステージ認証取得



2024ひょうご信用創生アワード

事業者名：足立織物 
支援機関名：  兵庫県信用組合

ご清聴ありがとうございました



事例名

ともにプロジェクトの活動を通して、
お客さまと向き合い、本業支援に取り組んだ事例| 事業者 | 株式会社御座候 |  | 支援機関 | 姫路信用金庫

取組事例の概要

御座候の名前には「お買い上げ賜りありがたく御座候」という感謝の想いと、私が焼いた回転焼きで御座いますという商品への自信と誇りが込められている。日本の伝統的な手仕事やおもてなしの体験を通じて、日本の伝統的な手仕事の産業を守ることに貢献している。

支援機関は、「ともにプロジェクト」を通じて、姫路市を代表する当社と密に連携し、職員全員で情報収集を行った結果、当社のニーズを的確に把握し、適切なシーズを提供した事例。

事業者

株式会社御座候

■代表者	山田 宗平
■本店所在地	姫路市阿保甲611-1
■法人設立日(創業日)	昭和34年6月1日
■従業員数	358名
■業種	生菓子製造業
■事業内容	・主力商品に「御座候」があり、小豆を使った商品が中心。その他にラーメン、餃子などがあり、全国に79店舗を展開 ・「あずき文化の創造」を掲げ、あずきミュージアムの創設や、手仕事喫茶『御座候』書写山麓店をオープン

支援機関

姫路信用金庫

■本店所在地	姫路市十二所前町105番地
■担当部署	事業支援部
■支援内容	・伴走支援で事業再構築補助金と兵庫県の実業継続支援事業費補助金の申請サポート ・ひめしん研究開発支援助成金の取組 ・SDGs宣言サポート



選考委員の講評

- ・小豆文化と手仕事のユニークなコンセプトを価値に結びつけることに成功している。しっかりと価値を訴求することで、観光客の来訪につながり好循環が生まれる。
- ・コロナ禍で多くの事業者が影響を受ける中、支援機関は産学連携の実現や補助金申請などで的確な支援を行っている。

01



2024 ひょうご信用創生アワード

御座候 GOZASORO

— 手焼きの伝承 あずき文化の創造 —



姫路信用金庫

ともにプロジェクトの活動を通して、
お客さまと向き合い、
本業支援に取り組んだ事例

02

2024 ひょうご信用創生アワード

ともに取り組みした内容および今後の展開

御座候 GOZASORO

— 手焼きの伝承 あずき文化の創造 —



姫路信用金庫

- 1、新たな事業への進出
- 2、新商品開発
- 3、SDGsへの取り組み
- 4、今後の展開

03

『ともにプロジェクト』とは？

- ・姫路信用金庫 創業理念 『すべてを郷土繁栄とともに』
⇒『地域社会に貢献し共生する』
ひめしん創業時からの変わらぬ想い…
- ・金庫役職員が一丸となりお客さまの
『お悩み事』や『相談事』をお客様と『ともに考える』 取り組み

04

株式会社御座候の想い

- ①コスト優位が先行し本来の品質優位が消費者に伝わっていない
↓
ブランディングを目的とした、旗艦店舗として
御座候×日本の手仕事(民藝)を結ぶ喫茶型店舗を計画
- ②知る人ぞ知る味を承継し、姫路の味へ
- ③小豆の研究開発によって、美味しく健康に良い小豆を発信する

1、新たな事業への進出

①事業再構築補助金を用いた喫茶事業の展開

◎姫路市書写山麗エリアへの
フラッグシップショップ(喫茶店)1号店出店計画

- ・御座候のブランディング
- ・『手仕事の御座候』と『日本の手仕事』
- ・手仕事の『しつらい』と『おもてなし』の具現化



御座候 GOZASORO
— 手仕事の伝承 助産文化の創造 —

× 姫路信用金庫

想いを実現させるためのサポート

◎事業再構築補助金支援サポート

- ・金融機関の中で一番に事業再構築補助金の情報提供
- ・『想い』を『カタチ』にするために、
営業店担当者が計画書の素案を作成したことから計画が加速
- ・姫路商工会議所とも連携し、申請書のブラッシュアップをサポート

07

ともに取り組みした結果

◎第2回事業再構築補助金の採択

◎姫路市書写に御座候山麗店をオープン

『味覚』だけでなく、日本の伝統的な手仕事の
『しつらい』と『おもてなし』という体験を提供

◎手仕事の器、家具、播州織のユニフォーム...

⇒ 日本の美しい手仕事を未来へ

08

②補助金を活用した老舗餃子店の事業承継



◎姫路城近くにある戦後に開業した老舗餃子店「拝啓」
店主が高齢を理由に廃業を示唆



- ・『知る人ぞ知る名店』『餃子の味を継承する』
- ・地元で親しまれている味を守りたい
- ・「姫路城周辺エリアの魅力向上による地域の活性化へ」

⇒ 事業承継・引継ぎ補助金の活用を検討

御座候 GOZASORO × 姫路信用金庫

想いを実現させるためのサポート

- ◎補助金の対象内容や採択率などを精査
兵庫県事業承継・引継ぎ支援センターや姫路商工会議所へも相談
⇒兵庫県事業継続支援事業費補助金を提案
- ◎上記補助金の申請サポートを姫路商工会議所と連携し
ブラッシュアップをサポート

ともに取り組みした結果

メニューは変わらずラーメンと餃子のみ
注文スタイルはイチ、イチで通用
(ラーメン1人前、餃子1人前)

- ◎兵庫県事業継続支援事業費補助金採択
- ◎ビジネスモデルの再構築
→令和6年7月にリニューアルオープン
店舗内外の改装、働き方改革、
業務の効率化、観光客への対応
- ◎『味の継承、姫路の味へ』
御座候の創業者が
老舗餃子店の創業者に伝えた味
を守りぬくことが出来た

11

2、新商品開発

◎事業承継事例のヒアリングの中で、
当社が開発した **新品種「紫さやか」** の特性について
研究を加速させたい想いがあることを聴取

→当金庫が産学連携している兵庫県立大学を紹介

→令和6年度ひめしん研究開発支援助成金採択
研究テーマ『低糖度の高品質冷凍小豆あん製品の開発』

⇒ **美味しく、健康に良い小豆を発信**
地域の信用金庫と大学と連携しての取り組みで高い発信力



12

3、SDGsへの取り組み

◎環境負荷軽減を目指し本社・工場のLED化、社員教育の充実化、
ISO22000取得による安全性のマネジメント、地域住民との積極的な交流など

持続可能な経営を目指し、多数良い取り組みをしているものの、『見える化』出来ていない

⇒ 当金庫が提供しているSDGs宣言支援ツール提案

◎ヒアリングの結果を元に、SDGsの考え方、
現在当社で行っている **良い取り組み**、
これから **改善すべき点** の『見える化』の情報共有



株式会社御座候さまとの取り組みを通して

安定経営を続ける当地一流の企業であっても、
様々な想いを抱いており、サポートできることがある



常にアンテナをはり、お取引先様の想いを把握し、
ともに寄り添い、考えることの重要性を再認識



ともにプロジェクトの活動を通じて、
「地域社会に貢献し共生する」
『ひめしん』だからこそできる支援

4、今後の展望

◎株式会社御座候のこれから

・来年創業75周年 100年企業に向けて

御座候×手仕事(民藝)ブランディングの推進

手仕事喫茶『御座候』業態の2号店検討

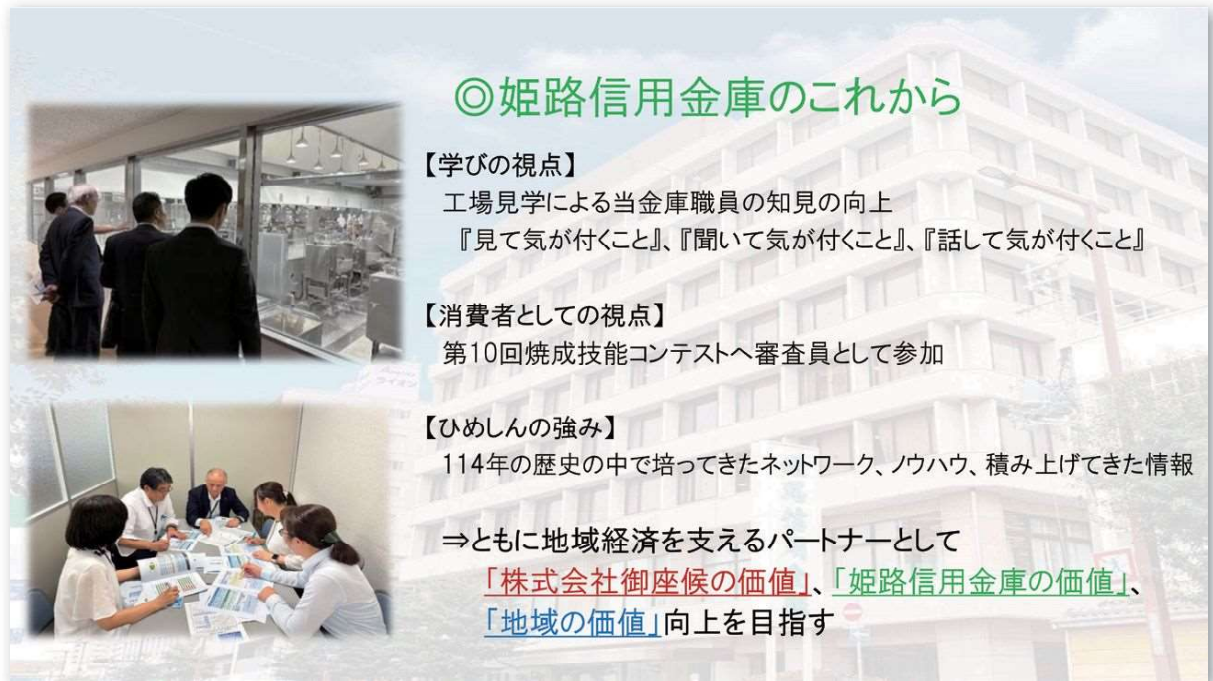
小豆品種改良と研究、特性を生かした商品創り

あずきミュージアムを発信基地として、
あずき文化発展のため、地域貢献、
研究発表を通して社会に貢献

20年後の新工場建設構想を築き上げ実現する



15



◎姫路信用金庫のこれから

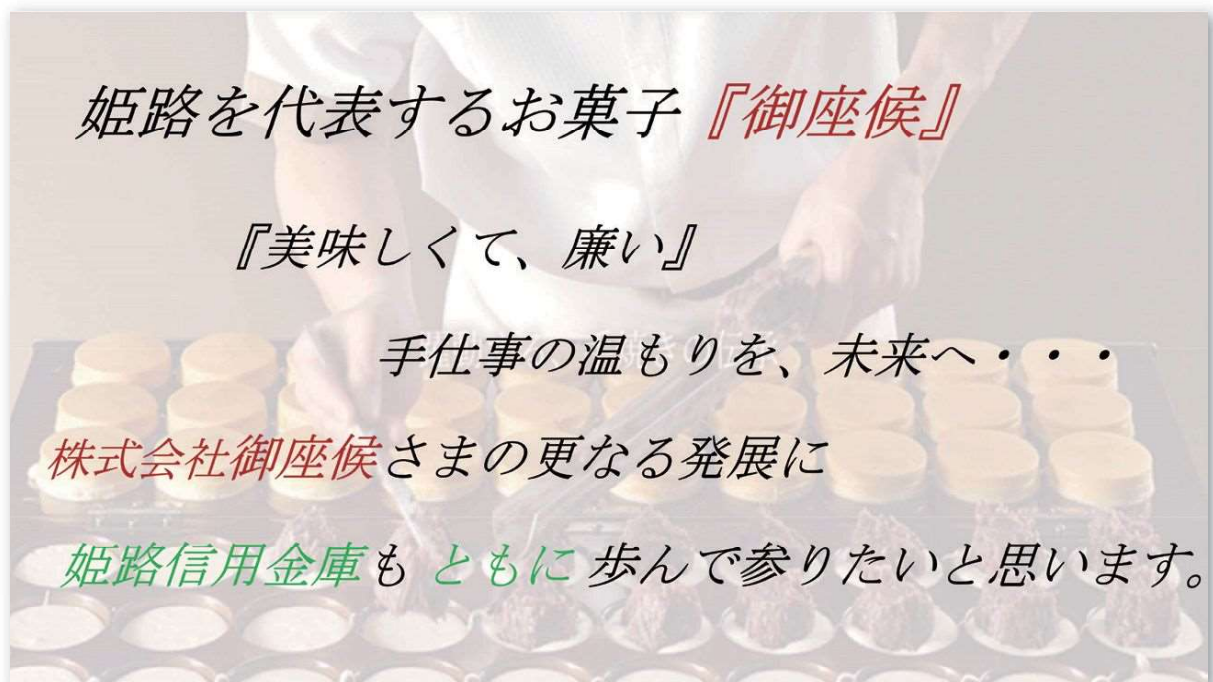
【学びの視点】
工場見学による当金庫職員の知見の向上
『見て気が付くこと』、『聞いて気が付くこと』、『話して気が付くこと』

【消費者としての視点】
第10回焼成技能コンテストへ審査員として参加

【ひめしんの強み】
114年の歴史の中で培ってきたネットワーク、ノウハウ、積み上げてきた情報

⇒ともに地域経済を支えるパートナーとして
「株式会社御座候の価値」、「姫路信用金庫の価値」、「地域の価値」向上を目指す

16



姫路を代表するお菓子 『御座候』

『美味しくて、安い』

手仕事の温もりを、未来へ・・・

株式会社御座候さまの更なる発展に

姫路信用金庫も ともに 歩んで参りたいと思います。

17



事例名

超地元密着型企业をめざして ～ 当社の想い実現へ向け全力で伴走支援

事業者 | **丸山印刷株式会社** × | 支援機関 | **株式会社商工組合中央金庫**

取組事例の概要

創業110年を迎える総合印刷会社。地域活性化に資する持続経営可能な印刷会社を目指すべく、①コンサル(商工中金経済研究所)を導入し、財務基盤・事業基盤を強固にするため10カ年経営改善計画の策定支援、劣後ローン(日本政策金融公庫と協調)、新規設備導入支援、②今後100年を見据えたSDGsへの取組支援として、サステナブルファイナンスを通じた持続可能な経営を行うためのKPI策定支援(日本格付研究所の認証取得)を実施。本業支援を含めた対応を多面的に実施した事例。

事業者

丸山印刷株式会社

■代表者	丸山 恵右
■本店所在地	高砂市神爪1丁目11-33
■法人設立日(創業日)	大正3年4月5日
■従業員数	115名
■業種	印刷業
■事業内容	・創業時から地元企業を中心顧客とし、創業110年を迎える印刷会社 ・カタログやパンフレット等の一般商業印刷の他、美術印刷や偽造防止印刷等を提供 ・印刷品質、技術力、デザイン力を生かした提案力に強み。

支援機関

株式会社商工組合中央金庫

■本店所在地	東京都中央区八重洲2丁目10-17
■担当部署	姫路支店
■支援内容	・経営改善計画書策定支援並びに劣後ローンによる財務基盤の強化 ・最新設備導入資金対応による事業基盤の強化 ・ポジティブインパクトファイナンス(PIF)による未来に向けたSDGsへの取組支援



選考委員の講評

- ・印刷業は需要の減少や環境対応の課題を抱え、従来の方法では収益低下と社会的責任の両立が困難である。成功への活路をみつけることが喫緊の課題である。
- ・支援機関は、事業性評価の独自ツールに基づいて、専門性の高い機関と連携し、事業者の勝ち筋を見極めた支援策を講じている。

2024ひょうご信用創生アワード

超地元密着型企业をめざして～
当社の想い実現へ向け全力で伴走支援

暦

二
千
二
十
四
年

事業者名 : 丸山印刷株式会社

支援機関名 : 株式会社商工組合中央金庫

1

2024ひょうご信用創生アワード

事業者名 : 丸山印刷株式会社
支援機関名 : 株式会社商工組合中央金庫

・当社の特徴

強み

- ・ 高度な印刷品質と技術力～取引先からの高い評価
- ・ 高いデザイン力～2009年内閣総理大臣賞受賞
- ・ 一貫生産ライン体制～企画から納品までワンストップ

弱み

- ・ 企業体力が十分でなく設備が古いままの状態
- ・ 受託型生産のため外部要因による売上減少リスクが大きい
- ・ 競合他社に比べ労務環境がやや劣る



2009年内閣総理大臣賞受賞

2

03

2024ひょうご信用創生アワード

事業者名 : 丸山印刷株式会社
支援機関名 : 株式会社商工組合中央金庫

・ 当社の想い

当社の主要顧客は、創業時から地元兵庫県南部の中堅中小企業の取引先が多く全売上の約60%を占める

100年以上にも渡り当社が存続できているのは
播州地域・社員のおかげ

当社を支え育ててくれた
地域・社員に対する恩返しをしたい！

⇒今後100年持続可能な『取引先にも社員にも選ばれる企業』になる！

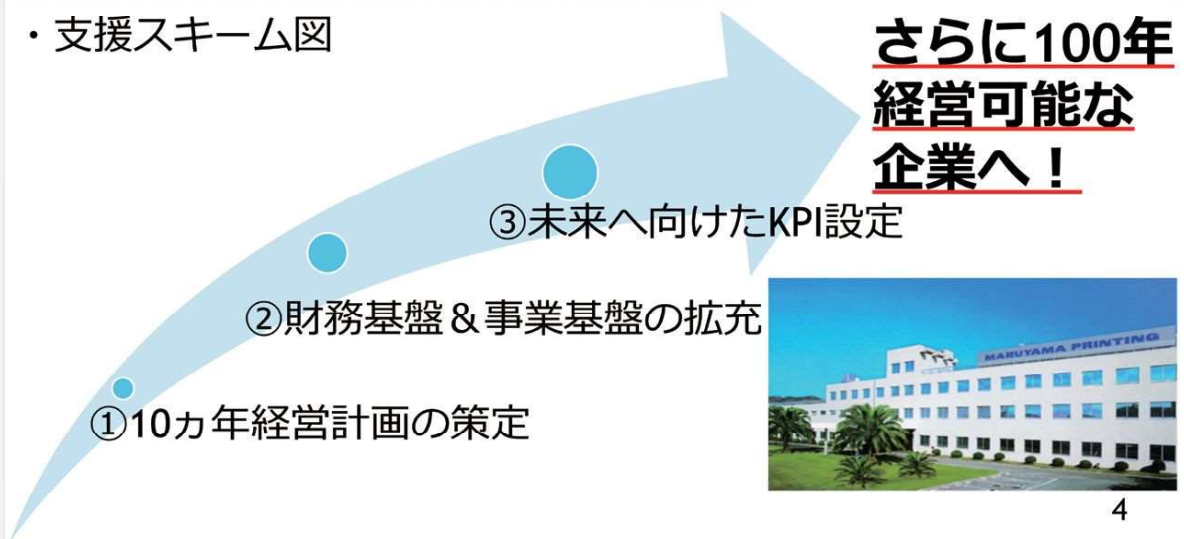
3

04

2024ひょうご信用創生アワード

事業者名 : 丸山印刷株式会社
支援機関名 : 株式会社商工組合中央金庫

・ 支援スキーム図



4

2024ひょうご信用創生アワード

事業者名：丸山印刷株式会社
支援機関名：株式会社商工組合中央金庫

・ 想いを実現するための支援

① 10ヵ年経営改善計画の策定

★ 営業店・本部・商工中金経済研究所と三位一体での連携

- ・メイン行として経営改善支援すべく商工中金経済研究所と連携し、月次で経営状況を共有
- ・工場実査や当金庫の事業評価レポートで強みや課題を再認識

⇒財務基盤の拡充、事業基盤の確立、SDGsへの取り組み、企画提案力の増強(新規事業:デザイン思考コンサルティングサービス)など当社にとって必要な打ち手の認識を共有

5 内部環境分析(強み・伸ばすべき良い点、弱み・改善点)

【当社の強み・伸ばすべき良い点】		【当社の弱み・改善点】	
人間 資源	▶ 印刷製版や印刷や複製業務が得意な人材が多い(国内数社が中心となる人材リソースを当社が有) ▶ 情報発信力のある社員(当社のホームページも大々的に更新)	人間 資源	▶ 営業部門に比べて人材育成が不足 ▶ 中堅以上の優秀な人材が不足 ▶ 中堅以上の優秀な人材が不足
構造 資源	▶ 品質・価格・納期に関する強みを発揮 ▶ 印刷製版から印刷・複製まで一貫したサービスを提供 ▶ 印刷製版から印刷・複製まで一貫したサービスを提供	構造 資源	▶ 印刷製版から印刷・複製まで一貫したサービスを提供 ▶ 印刷製版から印刷・複製まで一貫したサービスを提供 ▶ 印刷製版から印刷・複製まで一貫したサービスを提供
関係 資源	▶ 大手印刷会社の基盤、販売網の強化 ▶ 地域の企業との関係、印刷・複製業務の強化 ▶ 地域の企業との関係、印刷・複製業務の強化	関係 資源	▶ 大手印刷会社の基盤、販売網の強化 ▶ 地域の企業との関係、印刷・複製業務の強化 ▶ 地域の企業との関係、印刷・複製業務の強化
【その理由・背景】		【その理由・背景】	
① 印刷製版から印刷・複製まで一貫したサービスを提供 ② 印刷製版から印刷・複製まで一貫したサービスを提供 ③ 印刷製版から印刷・複製まで一貫したサービスを提供 ④ 印刷製版から印刷・複製まで一貫したサービスを提供 ⑤ 印刷製版から印刷・複製まで一貫したサービスを提供		① 印刷製版から印刷・複製まで一貫したサービスを提供 ② 印刷製版から印刷・複製まで一貫したサービスを提供 ③ 印刷製版から印刷・複製まで一貫したサービスを提供 ④ 印刷製版から印刷・複製まで一貫したサービスを提供 ⑤ 印刷製版から印刷・複製まで一貫したサービスを提供	

レポートより抜粋

5

2024ひょうご信用創生アワード

事業者名：丸山印刷株式会社
支援機関名：株式会社商工組合中央金庫

・ 想いを実現するための支援

② 財務基盤 & 事業基盤の拡充

★ 日本政策金融公庫様と協調融資

- ・資金繰り安定化を企図した劣後ローンを日本政策金融公庫様と協調で実施

⇒資本増強による呼び水効果に寄与

⇒バンクフォーメーション及び銀行支援体制整備を実現

★ 事業再構築補助金を活用した最新設備導入

- ・小ロットかつ超短納期で製品を作成することが可能
- ⇒他社との差別化を図る事業の確立に成功(P12参考)



6色印刷機



4色印刷機

6

2024ひょうご信用創生アワード

事業者名：丸山印刷株式会社
支援機関名：株式会社商工組合中央金庫

・ 想いを実現するための支援

③ 未来へ向けたKPIの設計

★サステナブルファイナンスを通じた経営支援

- ・ 当金庫独自サービス「ESG診断」の活用
- ・ KPI(障がい者雇用・女性採用比率・年間休日日数等)設定

⇒株式会社日本格付研究所より第三者意見書を取得
⇒設定したKPIの達成状況をモニタリング/年1回
⇒女性採用比率は4%増加、年間休日も毎年増加中！



第三者意見書

2023年11月29日
株式会社 日本格付研究所

評価対象:	丸山印刷株式会社に対するデジタル・インパクト・ファイナンス
発行人:	株式会社商工組合中央金庫
採択者:	株式会社商工組合中央金庫
第三者意見提供:	株式会社日本格付研究所 (JCR)

解説:
本ファイナンスは、環境・社会・ガバナンスの観点から設定したデジタル・インパクト・ファイナンスに適合している。
また、環境省のESG評価ハイレベル・バネン設置要綱第2項(4)に基づき設置されたデジタル・インパクト・ファイナンス・タスクフォースが実施した「インパクト・ファイナンスの標準化」を参考にしている。

第三者意見書一部抜粋

◎ 将来ビジョンを実現するためのKPIを設定。
さらに第三者意見書を通じ対外的にもPR！！

7

2024ひょうご信用創生アワード

事業者名：丸山印刷株式会社
支援機関名：株式会社商工組合中央金庫

・ 想いを実現するための支援

《その他本業支援》

★組合を通じた同業者との連携支援

- ・ 当金庫取引先印刷組合による当社工場見学実施
- ⇒即取引開始には至らなかったものの、当社と印刷組合とのパイプ作り、中長期的なビジネスチャンスの創出に貢献

★中小企業基盤整備機構の活用

- ・ 中小企業基盤整備機構のハンズオン支援事業に参加
- ⇒間接部門における業務フロー上の問題点、無駄な業務の洗い出しを実施中



従業員の方々

8

2024ひょうご信用創生アワード

事業者名：丸山印刷株式会社
支援機関名：株式会社商工組合中央金庫

・まとめ

計画策定支援

強み・弱みの再認識

⇒想いの実現へ！

金融支援

①資金繰り安定化

②最新設備導入

⇒財務&事業基盤拡充！

サステナブル支援

KPIの設定

⇒職場環境改善に寄与！

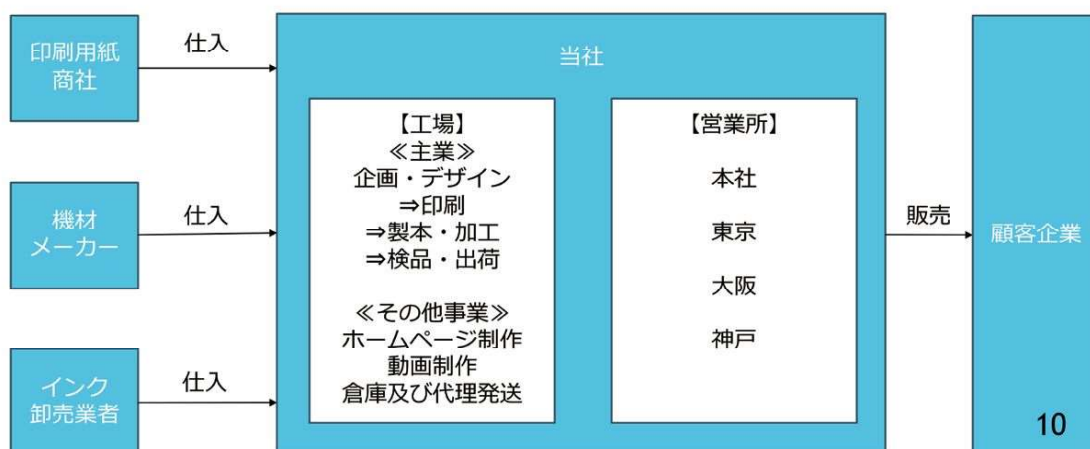
丸山社長、社員の方々、兵庫県信用保証協会様、地域金融機関様、
日本政策金融公庫様のご支援・ご協力ありがとうございました

9

2024ひょうご信用創生アワード

事業者名：丸山印刷株式会社
支援機関名：株式会社商工組合中央金庫

(参考) ビジネスモデル



10

11

2024ひょうご信用創生アワード

事業者名：丸山印刷株式会社
支援機関名：株式会社商工組合中央金庫

(参考) 地域貢献



図1

○地元兵庫県南部の美しい風景等を提供している
※図1は兵庫県南部の風景を発信している
※図2は姫路城に着目した動画を作成・販売



姫路城の壮麗な姿を凝縮した特別な動画を、自由に活用いただけます。

様々なシーンで
活用可能!

観光
プレゼン
教育
文化
イベント



図2

11

12

2024ひょうご信用創生アワード

事業者名：丸山印刷株式会社
支援機関名：株式会社商工組合中央金庫

(参考) 新規事業



・顧客のバリューチェーン上流の「商品企画」や「販促戦略」に※デザイン思考を用いたコンサルティングサービスを提供

・迅速なプロトタイプ製作を行い、当社強みの印刷技術やSNS情報発信力を活かした商品開発ニーズに対する新事業

※デザイン思考

従来行われてきた過去の実績に基づく仮説検証(客観・論理・計画)による商品開発ではなく、目の前の顧客の観察からニーズを捉え、アイデアを創出して製品やサービスを生み出していく方法

12

2024ひょうご信用創生アワード

事業者名：丸山印刷株式会社
支援機関名：株式会社商工組合中央金庫

(参考) ESG診断

ESG診断結果レポート

項目	スコア		実施企業平均	GAP		評価※
	今回	前回		前回スコアとの差	実施企業平均との差	
総合スコア	27	0	27.6	-	-0.6	A
環境 (E)	8	0	8.1	-	-0.1	A
社会 (S)	7	0	7.9	-	-0.9	B
ガバナンス (G)	12	0	11.6	-	0.4	S

※評価はスコアによって決定しております

評価	C (できていない)	B (ややできていない)	A (できています)	S (非常にできています)
ESG各スコア	5点未満	5～8点未満	8～12点未満	12点以上
総合スコア	15点未満	15～24点未満	24～36点未満	36点以上



- ・売上維持拡大・地域貢献の観点からESGに係る取組の重要性を共有
- ・ESG診断を活用し足元のESG取組状況から可視化すること
- ・スコアや会社方針を踏まえ、最新設備導入に併せて労務環境改善も意識した体制づくりを進言

13

2024ひょうご信用創生アワード

事業者名：丸山印刷株式会社
支援機関名：株式会社商工組合中央金庫

(参考) 設定したKPI、進捗状況

KPI①内容	・法定比率（2、3％）超の維持（障がい者雇用） ・全ての部署・職種で従業員の女性比率を10％以上とする （特に女性の比率が低い平版印刷部（現在0％）などの比率を10％以上とする）	KPI⑤内容	・ISO14001認証の維持 ・5年後までに廃液発生をゼロにする（現状年間1～1.5トン）
進捗報告	実績：障がい者雇用比率：2.79％、女性雇用比率：45％ コメント：①障がい者雇用は法定比率以上を保持 ②女性比率は10％以上をクリアしており昨年よりも比率も4％アップした	進捗報告	実績：①ISO14001認証は継続取得 ②無処理版テストを新規導入中 コメント：無処理版の試験中であり時間を要しているが、モニタリング最終年には完全実施の予定
KPI②内容	年間休日日数（現状108日）を毎年増加させる	KPI⑥内容	・各種認証（ISO、FSC/COC他）の維持 ・講師を招き、毎月研修を実施する（営業部門）
進捗報告	実績：今年度の休日日数を110日とした コメント：今年度も1日増加を実施	進捗報告	実績：確認証は全て継続取得、営業の戦略会議も毎月実施 コメント：認証は全て継続更新しており、社外から招聘した顧問3名を招いての営業戦略会議を毎月実施
KPI③内容	新事業において5年間で合計8名以上の雇用を創出する	KPI⑦内容	・フォロワー数の拡大 融資期間中、毎年SNS(Twitter, Facebook, Instagram計)のフォロワー数を年間100人（現状計10,000人）以上増加させる
進捗報告	実績：新規デザイナーを招いての工場見学会を月1回のペースで実施中 コメント：①新しいデザイナーとの接点を設けて工場を見学してもらった企画は継続して実施 ②新事業関係の課にて女性社員を3名採用	進捗報告	実績：SNSの発信を継続して行っており、近年のフォロワー数は増加傾向で前期は9,954人→10,699人 コメント：Facebook、Instagramは微増したが、Twitterは他社とのコラボ企画により増加
KPI④内容	・FSC/COC認証の維持 ・FSC認証紙を使用した印刷製造物の数量増加 （現状）年間取扱量（FSC用紙）20,865kg / 309,900枚（2021年度の取扱数量） （目標）毎期、前年度取扱数量（重量/枚数）を超えて使用		
進捗報告	実績：①FSC/COC認証継続（R5/R6/I） ②40,505kg / 515,775枚（2023年度の取扱数量） コメント：重量は前期比75％増加、枚数も前期比65％増加		

14

2024ひょうご信用創生アワード

事業者名：丸山印刷株式会社
支援機関名：株式会社商工組合中央金庫

(参考) ハンズオン支援

支援計画書(案)		最終確認計画						備考
事業計画書		1-1月	2-2月	3-3月	4-4月	5-5月	6-6月	
事業計画書		支援計画書の作成と計画実行の定着						最終確認計画の作成と計画実行の定着
事業計画書	計画	間接部門の業務改善計画の作成と計画実行の定着						最終確認計画の作成と計画実行の定着
	内容	間接部門の業務改善計画の作成と計画実行の定着						最終確認計画の作成と計画実行の定着
事業計画書	計画	間接部門の業務改善計画の作成と計画実行の定着						最終確認計画の作成と計画実行の定着
	内容	間接部門の業務改善計画の作成と計画実行の定着						最終確認計画の作成と計画実行の定着
事業計画書	計画	間接部門の業務改善計画の作成と計画実行の定着						最終確認計画の作成と計画実行の定着
	内容	間接部門の業務改善計画の作成と計画実行の定着						最終確認計画の作成と計画実行の定着
事業計画書		1-1月	2-2月	3-3月	4-4月	5-5月	6-6月	計 1-6月
事業計画書		丸山印刷株式会社	丸山印刷株式会社	丸山印刷株式会社	丸山印刷株式会社	丸山印刷株式会社	丸山印刷株式会社	計 丸山印刷株式会社
事業計画書		1-1月	2-2月	3-3月	4-4月	5-5月	6-6月	計 1-6月

- ・生産性向上を目的としたハンズオン支援に参加
- ・専門家の意見を聞きながら間接部門における無駄な業務を撤廃⇒適切な人員配置&生産性向上を企画

講 評

現在、金融庁の業種別支援手法に係る研究会の座長や、中小企業庁の中小企業政策審議会金融小委員会の委員長などを務めており、挑戦する中小企業を金融面から応援していきたいと思い研究をしています。

今年度は、16機関から29事例のご応募をいただきました。いずれも支援機関の皆さまが事業者に寄り添って事業者の成長、発展に尽力されており、それぞれに特徴のある取り組みでした。共通しているのは、事業者の強みと弱みを見極め、強みを伸ばし、弱みを解消するための具体的な手立てを、必要に応じて外部の支援機関の協力も得ながら立案し、その実施プロセスについても親身に伴走していることです。その結果、事業者から強い信頼を得られています。金融支援にとどまらず、本業そのものをいかに改善していくかに対して、支援機関の皆さまが尽力されていることがうかがえます。

私が、経済産業研究所のファカルティフェローとして、令和5年12月に実施した全国の地域金融機関支店長向けアンケートでは、98%の支店長が「経営に問題を抱えた事業者を支えるのは金融機関の使命である」と回答されていました。本日の事例は、まさに支援機関が使命を果たされ、担当者は自信と誇りをもってこの取り組みにのぞんでいることがわかりました。いずれの事例も、地域経済の発展に大きく貢献するものであり、今後の展開が非常に楽しみです。

兵庫経済を取り巻く環境は決して楽観できませんが、支援機関の皆さまの情熱で、困難を乗り越えていただきますよう、お願い申し上げます。



家森 信善氏

神戸大学経済経営研究所教授・同地域共創研究推進センター長
＜プロフィール＞昭和61年滋賀大学経済学部卒業。名古屋大学教授、同総長補佐などを歴任後、平成26年から神戸大学経済経営研究所教授。現在、財務省財政制度等審議会委員、中小企業庁中小企業政策審議会金融小委員会委員長、地域経済活性化支援機構（REVIC）社外取締役など多くの公職を務める。



Credit Guarantee
Corporation of Hyogo-ken